



# 超 大交流会



2015年9月4日(金)東京武道館(東京都足立区)での運動会の高揚感をそのままに、総合宴会場オーラムにて「超・大交流会」が開始となりました。

まずは榎本交流委員長からのお言葉で幕開け。今回の運動会を通じて、2020年の東京オリンピックに向けて、ディスプレイ業界の「連携」を強めるためにも若者のコミュニケーションを活発化させ、「新しい価値」を生み出してほしい、との想いをお話頂きました。

続いて上田副理事長より、参加者のパワーがすごかった、とのご感想及び東京オリンピックで我々の力を見せる、という目標と共に、乾杯のご発声。

その後、前方のスクリーンでは運動会時の臨場感ある写真が流れる中、歓談の時間となりました。司会者の声も届かないほ

ど、会社の垣根を越えた交流が積極的に行われていました。

そしてお待ちかね、運動会の結果発表の時間がやってきました。競技ごとに「玉送ったで賞」「玉入れたで賞」「引っ張ったで賞」「知ってるで賞」「走ったで賞」が設けられ、参加者のうち男女2名ずつが選ばれました。栄えある「大会MVP」に選ばれたのは乃村工藝社の大桃加衣さん。特に積極的に競技に参加し、活躍が光っていた方々が各賞を受賞されました。総合優勝に輝いたチームは、池上団長率いる緑チーム。Googleを駆使した綿密な作戦で綱引きを制し、2位の黄色チームとはたった10ポイント差という僅差で優勝を手に入れました。

さらに「日デ連会長賞」が特別賞として設けられ、渡辺会長のご厚意で高級化粧品

や高級ワイン、高級日本酒、商品券といった超豪華賞品が、くじ引きもしくはじゃんけんで勝ちぬいたとても幸運な方々の手に渡りました。

最後は昨年の超・お祭りでも会場を盛り上げた東デ協ダンサーズと共に、懐かしの東デ協音頭を踊り、フィナーレ。各社の社長陣もステージに上がり、盛況のなか名残惜しくも幕を閉じました。

例年の四支部合同交流会以上に、ディスプレイ業の未来を担う若手の参加が目立った今年の交流会。日デ連 渡辺会長からは「この業界の活性化した姿がみえてきた」とのお言葉も頂戴し、東デ協からこの業界を一層飛躍させるべく、決意も新たになったひとときでした。

広報委員：大角陽奈子/㈱トーガン

